

## 「プロポリスによる中高年者の認知機能維持」 「ネオニコチノイドによるヒトへの影響」など 臨床研究 8 件を含む 18 件の研究が新たにスタート

株式会社 山田養蜂場（本社：岡山県苫田郡鏡野町、代表・山田英生）は、予防医学的研究の発展を目的とし、今年5月「山田養蜂場 みつばち研究助成基金」の2014年度研究テーマを公募しました。その結果、「プロポリスのアトピー型アレルギー予防効果」や「筋力トレーニングとローヤルゼリーの組合せによる筋力増強効果」、これまでの助成により成果が得られ始めている継続的な研究「プロポリスによる中高年者の認知機能維持・向上」等、臨床研究8テーマを含む18テーマを助成することを決定し、10月17日（金）には、採択証書交付式にて採択研究テーマを発表致しました。

採択研究テーマおよび採択研究者コメントを次頁に掲載しております。ご覧ください。



【2014年度 みつばち研究助成基金 採択研究者の皆さま】

※集合写真および証書交付式時の個人写真(17名、内代理出席3名)がご入り用の方は下記までご連絡ください。

【交付式の様子】交付式では、代表取締役社長 <sup>やまだひでお</sup> 山田英生より、「当社は、ミツバチや天然物の生理活性作用を予防医学に活かす為、また、優秀な研究者を支援する為に基金を設立し、採択研究の中から、「蜂の子による聴力回復や耳鳴によるストレスの軽減」など、世界でも注目される成果が得られてきております。専門家の皆さまと学際的なネットワークを形成され、「ひとりの人のために」というヒューマンな志を確認し合い、健康長寿社会の実現に向けた研究に取り組んでくださることを期待しております」と挨拶し、採択研究者にエールを送りました。

また、採択研究者を代表して東京慈恵会医科大学・<sup>うらしまみつよし</sup> 浦島充佳教授が「私の娘もアトピーやアレルギーに罹患していますが、子供のアレルギーは年々増加しています。小児科医として勤務しており、過去に救えた命と救えなかった命がありました。そうした命は、必ずしも手術や薬で助けるだけでなく、予防で救うことができたかもしれないと考えてまいりました。本基金による蜂産品や機能性食品の予防医学的研究の成果が、子供や大人も含め、世界中の人々の福音となることを期待しています。」と決意を述べられました。

弊社の研究開発は、創業者である現会長 山田政雄が、先天性の心臓疾患を持って生まれてきた娘の健康を願って始めたローヤルゼリーの研究を起源としています。創業以来ミツバチ研究と予防医学的研究の発展に貢献するために、長年に渡り研究を続け、2006年5月にはみつばち健康科学研究所を設立、さらに2008年、創業60周年を機にみつばち研究助成基金を設立しました。

当基金では2013年度までの6年間で164件の研究を助成、「ローヤルゼリーの冷え症軽減」や「ローヤルゼリーの筋力低下予防」「ローヤルゼリーの放射性物質排出促進」など、論文発表38報、学会発表53件の成果を得て、一般向け健康セミナーを開催するなど予防医学を啓蒙しています。

本件に関するお問い合わせ

株式会社 山田養蜂場 文化広報室 関(ts0975@yamada-bee.com) 〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194  
TEL:0868-54-1906 (月～金 9:00～17:30、土日祝除く) / FAX:0868-54-3346  
みつばち健康科学研究所ホームページ: <http://www.bee-lab.jp> twitter: @yamadabeelab  
Facebook: <https://www.facebook.com/bee.lab.3838>

## 山田養蜂場「2014 年度 みつばち研究助成基金」採択研究テーマならびに研究者のコメント

審査員長の岩手大学研究交流部 特任教授・名誉教授 鈴木幸一先生をはじめ、人間総合科学大学 人間科学部 特任教授 小林修平先生他5名、計7名の外部審査委員を含む審査委員会による厳正なる審査を経て、研究者18名（18テーマ）への助成が決定しました。

No	研究テーマ	氏名	所属
1	生活習慣病における EPA/DHA およびみつばち成分の抗炎症・抗動脈硬化作用と分子機序の解明（臨床研究）	あさはら のりこ 浅原 哲子	（独）国立病院機構 京都医療センター
<p>メタボリック症候群は、内臓肥満を基盤とする心血管病（CVD）や慢性腎臓病の高リスク群であり、肥満症患者において包括的な CVD 予防・治療法の確立が急務となっています。肥満症・生活習慣病に対するみつばち関連成分の有用性を明らかにし、副作用の少ない包括的な予防・治療法につながる基盤を構築したいと考えています。</p>			
2	授乳中の母親を対象としたプロポリスによるアトピー感作予防二重盲検ランダム化プラセボ比較試験（臨床研究）	うらしま みつよし 浦島 充佳	東京慈恵会医科大学 分子疫学研究部
<p>アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、喘息、花粉症などアトピー型アレルギーの罹患者は増加の一途をたどっています。しかし、これらアトピー型アレルギーの予防法はないのが現状です。本研究でプロポリス投与により、これを減少させることができれば、医療費削減という効果も期待できるでしょう。</p>			
3	みつばち産品摂取による皮膚構成成分への影響とそのメカニズムの解明	おおいし ゆういち 大石 祐一	東京農業大学 応用生物科学部
<p>みつばち産品摂取による皮膚コラーゲン、ヒアルロン酸、皮脂セラミドへの影響を検討し、みつばち産品の皮膚への効果を評価します。この研究は、生化学的、分子生物学的にみつばち産品商品の効果を証明するものであり、本研究の結果は、みつばち産品の市場の更なる拡大を期待できます。</p>			
4	エイジング不妊患者に対するプロポリスの不妊改善効果の無作為化比較試験（臨床研究）	かわむら かずひろ 河村 和弘	聖マリアンナ医科大学 医学部
<p>本邦の不妊患者は増加の一途で、体外受精の施行数は世界最多となっています。本研究ではプロポリスを用い、エイジングによる卵巣機能低下に対する有用性において、科学的根拠の高い知見を得ることを目的としています。</p>			
5	女王蜂の人工飼養のための人工飼料の再検討	きむら きよし 木村 澄	（独）農研機構畜産草地研究所
<p>現在の女王蜂の人工飼育方法では、生殖可能な女王蜂は生産できません。そこで、ローヤルゼリー蛋白や糖質含量などの成分を見直し、人工飼料（餌）を改良することによって人工的に生殖可能な女王蜂生産を目指します。人工的生産が可能になれば、季節に影響を受けにくい女王の工場的大規模生産も視野に入ります。</p>			
6	ローヤルゼリー成分およびメリンジョ成分による自然炎症の抑制	さいとう たつや 齊藤 達哉	大阪大学 微生物病研究所
<p>ローヤルゼリーに含まれるヒドロキシデセン酸およびメリンジョに含まれるレスベラトロールは、生活習慣病の発症を予防する効果を発揮することが知られています。本研究では、生活習慣病の発症に関わる「自然炎症」に注目し、この生体反応に対するヒドロキシデセン酸およびレスベラトロールの効果を検証します。</p>			
7	ローヤルゼリーの皮膚細胞でのマイクロ RNA 発現に与える影響とアンチエイジングへの応用	じんじん まさとし 神人 正寿	熊本大学大学院 生命科学研究部
<p>数百種類の microRNA の中からローヤルゼリー投与により増加・減少する microRNA をリストアップし、紫外線による皮膚老化に対する影響を調べてアンチエイジング効果を実証します。microRNA は私のライフワークであり、ローヤルゼリーの効能をこれまでとは違った角度で検証できればと考えています。</p>			
8	消化管の生体防御機能に対するみつばち産品の効果と疾病予防への応用	すずき たくや 鈴木 卓弥	広島大学大学院 生物圏科学研究科
<p>消化管疾患の予防に貢献する高機能食品を見出し、みつばち産品の新規の機能性を明らかにすることを目的としています。炎症性腸疾患への臨床応用はもちろんのこと、日常的に起こる軽微な炎症を抑えることが可能となり、広く人の健康に貢献できると期待しています。</p>			
9	ネオニコチノイド系殺虫剤の代謝産物標準物質の作製と尿中バイオマーカーとしての応用（臨床研究）	たいら くみこ 平 久美子	東京女子医科大学 東医療センター
<p>ネオニコチノイド系殺虫剤（NN）のハチをはじめとする生態系への影響は世界的に深刻で、日本ではヒトの中毒も出ています。環境 NN 中毒の診断法を確立し、日本人の曝露の実態を明らかにすることは、世界的な NN の使用見直しに科学的な根拠を与えるものと期待しています。</p>			

No	研究テーマ	氏名	所属
10	中高年者の認知機能維持・向上に対するプロポリスの有効性の立証とそのメカニズムの解明（臨床研究）	たけひろ 武 洲	九州大学大学院 歯学研究院
<p>今研究によりプロポリスの中高年者における脳機能低下の予防効果と脳炎症の制御メカニズムを解明します。そして、プロポリスの脳老化予防効果の科学的な根拠を日本から世界へ発信することを目指します。高齢者の生活の質向上、医療費の削減、健康長寿世界への貢献が大いに期待できるでしょう。</p>			
11	ミツバチ産品が不眠モデルマウスの睡眠クオリティ改善に及ぼす効果の検証	てらおあきら 寺尾 晶	北海道大学大学院 獣医学研究科
<p>睡眠クオリティの低下とともに肥満時には基礎代謝の低下やインスリンが作用しにくくなることが知られています。ミツバチ産品が睡眠クオリティ改善に及ぼす影響と、その代謝機能に及ぼす影響を共に検証することが、本研究アプローチのユニークな点であると考えています。</p>			
12	筋力トレーニングによる筋肉増強効果を加速させるロイヤルゼリーの新たな効果の検証（臨床研究）	ないとうひさし 内藤 久士	順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科
<p>加齢に伴う骨格筋の筋肉量および筋力の低下（サルコペニア）は、日常生活動作や生活の質の低下に加えて、基礎代謝の低下から生活習慣病に罹りやすくなるおそれがあります。必須アミノ酸を多く含む酵素分解ロイヤルゼリーと筋力トレーニングの組み合わせが筋機能の向上に有利に働くか否かについて、ヒト骨格筋を対象に検証します。</p>			
13	プロポリスによる歯周病および誤嚥性肺炎の予防効果に関する包括的研究（臨床研究）	なかおりょうま 中尾 龍馬	国立感染症研究所
<p>本研究では、高齢社会と予防医学という観点から、プロポリスの歯周病や誤嚥性肺炎に対する予防効果に焦点を当て、臨床研究を実施します。良好な効果がみられた場合は、その後の中・大規模臨床試験に継続させて、最終的に歯周病や誤嚥性肺炎の予防に資する提言を得ることを目指します。</p>			
14	ブラジル産プロポリス由来 RXR アゴニストの生体機能調節作用の検証	なかしまけんいち 中島 健一	愛知学院大学 薬学部
<p>昨年度助成研究において、代謝性疾患や皮膚疾患などの治療において注目されているレチノイド X 受容体 (RXR) に結合し活性化するブラジル産プロポリス由来の成分を同定しました。本研究ではメタボリックシンドロームへの有効性を引き続き検証するとともに、新たに皮膚疾患に対する有効性も検証し、ブラジル産プロポリスの有用性に関して科学的根拠の充足を目指します。</p>			
15	ローヤルゼリー、プロポリスの抗アレルギー分子機構解明	ふくいひろゆき 福井 裕行	徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部
<p>抗アレルギー作用の伝承を持つローヤルゼリー及びプロポリスが、アレルギー性鼻炎の症状改善や、遺伝子レベルでの改善が見られるかを明らかにします。抗ヒスタミン薬などの薬物を用いなくてもアレルギー性鼻炎の発症を抑える治療戦略の確立が可能であると考えています。</p>			
16	ミツバチ産品による免疫系賦活化を介した記憶・認知障害の予防効果	ふじたゆき 藤田 幸	大阪大学大学院 医学系研究科
<p>本研究は、ミツバチ産品が脳内の免疫担当細胞を介した神経保護作用を誘導する可能性を検証します。神経変性疾患の原因となる神経細胞の脱落・変性を減らすことを明らかにします。</p>			
17	プロポリス摂取による抗ウイルス活性化機構の解明（臨床研究）	まつみやともお 松宮 朋穂	弘前大学大学院 医学研究科
<p>プロポリス依存的な抗ウイルス作用の基盤研究を発展的に展開すべく、ヒトにおけるプロポリス摂取による抗ウイルス作用の活性化機構を、予防医学的観点から解明することを本課題の研究目的としています。</p>			
18	Discovery of propolis induced metabolomic antiausterity biomarkers in pancreatic cancer	すれすあわれ Suresh Awale	Frontier Research Core for Life Sciences, University of Toyama
<p>プロポリス成分がヒト膵臓癌細胞をどのように細胞死させるか、代謝的サインに着目し、抗癌活性のメカニズムについて知見を得ることを目的としています。</p>			

(各 50 音順、敬称略)

※交付式欠席者（齊藤達哉様）および代理出席者（大石祐一様、河村和弘様、平久美子様）につきましては、証書交付の写真はございませんので、ご了承ください。